

生産方式革新実施計画の概要【株式会社 吉野家ファーム福島】

2025年
9月30日認定

活用するスマート農業技術

収量センサ付きコンバイン



新たな生産の方式

新品種の導入による作期分散

水稻において、新品種の導入による品種構成の見直しにより作期分散を行うとともに、収量センサ付きコンバインの稼働面積を拡大し、労働生産性の向上を図る。

<申請者>

株式会社 吉野家ファーム福島（福島県白河市）

経営概況（2025年9月時点）

経営規模：水稻49.5ha、露地野菜8.5ha

従業員数：16名

<対象品目>

水稻

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



吉野家ファーム福島の皆様



収量センサ付きコンバイン
による収穫作業

～認定を受けて一言～

農業の新しい「夜明け」を感じながら、食糧の源である米を作り続けていく要素として、スマート農業に取り組むことが必須で、特に若い就農希望者が魅力を感じる農業となるよう、本計画の策定に至りました。

農村特有の風景・多様な役割等を維持しながら、より収益性の高い農産物の生産に一層精進してまいります。